

「ゴールが見えてきたからこそ、原点に！」

<南風 第10回 2月>

2月も中旬を迎え、寒かった今年の冬も終わりが少し見えてきました。同時に令和7年度も最終コーナーに入っています。南っ子たちは、寒さに負けず元気いっぱい、やる気いっぱいの毎日を過ごしています。先日、本校の楽しい行事の一つである「わくわくフェスタ」が行われました。異学年の縦割りグループで、それぞれのアイデアをこらした出し物は、「全力で楽しむ南っ子」のまさに得意技です。また、高学年が低学年をやさしくお世話しながら、他のグループの出し物を回る姿に南小学校の「温かさ」を強く感じる事ができました。人と人の関わりに薄さが指摘される、昨今の世の中において、このようなイベントが全校で企画し、楽しむことができる南小の子どもたちや職員に心から感謝したいと思いました。

さて、各学年や学級でも、「まとめの2月」として学習面、生活面で振り返りを行い、4月からの新しいスタートに備えています。今年度、私は職員に「話を聞く子」を目指してほしいといういろいろな場面でお願ひしてきました。そこで、本日の朝礼で以下のような話をさせていただきました。

みなさんに「聞き方」について考えてほしいと思います。みなさんは、友達の話をごんごんに聞いていますか？

- ・目を見て聞いていますか。
- ・うなずきながら聞いていますか。

以前、こんな場面に出会ったことがあります。二人の友達が少し言い合いになり、おたがいに自分の気持ちを一生懸命話しています。でも、なかなか話が通じません。どちらも「話す」ことに一生懸命で、「聞く」ことが少し足りなかったのです。そのとき、近くにいた友達が言いました。

「ちょっと待って。最後まで聞いてあげようよ。」

一人が話し終わるまで、もう一人はだまって聞きました。目を見て、うなずきながら聞きました。

話し終わった子の顔は、さっきより少しやわらかくなっていました。そして今度は、

「じゃあ、あなたの話も聞くね」と言いました。

最後まで聞いてもらえると、うれしいし、分かろうとしてもらえると、安心します。

人は、「聞いてもらえた」と感じると、心が温かくなり、自分も相手の話を聞こうという気持ちになります。

今のクラスで過ごす時間は、もう二度と戻ってきません。だからこそ、今いっしょにいる友達の話をお大切に聞いてほしいのです。6年生は、中学校へ進みます。新しい仲間と出会ったとき、しっかり聞ける人は信頼されます。1～5年生も、一つ上の学年になります。リーダーになる人も増えます。リーダーにいちばん大切なのは、上手に話すことよりも、実は「しっかり聞くこと」です。

- ・最後まで聞く
- ・相手の気持ちを考えながら聞く
- ・うなずきながら聞く

それだけで、クラスはもっとやさしく、温かい場所になります。2月はまとめの時期です。自分はどんな聞き方をしているかな、と少し振り返ってみてください。聞き方が変わると、人との関わりが変わります。人との関わりが変わると、南小学校がもっと素敵になります。残りの時間を、温かい聞き方でいっぱいにしていきましょう。

